

# 青少年奉仕部門

## ローターアクト委員会

2021-2022年度の地区研修・協議会

国際ロータリー第2660地区ローターアクト委員会

2021-2022年度 委員長 樋口 晃

# ローターアクトとは？

若いグローバルリーダーのネットワーク

ローターアクトクラブは18歳以上の人々が集まり、地域社会のリーダーと意見交換したり、リーダーシップと専門的なスキルを育みながら、楽しく奉仕活動を行っております。

ロータリーとローターアクトの会員は世界各地で、奉仕を通じ共に行動をしています。大都市から僻村まで、ローターアクトは、様々な地域社会での変化をもたらす、団体です。

ローターアクト会員は、クラブの組織、運営、資金管理、活動や奉仕プロジェクトの計画・実施を自ら決定をします。そして、スポンサークラブとなるロータリークラブが奉仕のパートナーとしてローターアクトを指導・支援しております。

# ローターアクトの歴史

世界中の青少年が共に活動できるような組織を作ろうと1962年国際ロータリーによりインターアクトプログラムが採択されましたが、インターアクトは**14～18**歳迄の高校生の年齢が対象で卒業と同時に会員資格が失効してしまう為、これを継続するプログラムとして、1968年当時の国際ロータリー会長のルーサー・H・ホッジスによりローターアクト構想が打ち出され、その年理事会でロータリーの公式プログラムとして承認されました。最初に承認されたクラブは同年**3月13日**アメリカ・ノースカロライナ州のノースシャーロットRC提唱によるノースシャーロットローターアクトクラブでした。日本最初のローターアクトクラブは、1968年**6月1日**川越RC提唱の埼玉県の国際商科大学ローターアクトクラブ（現：川越ローターアクトクラブ）がはじまりです。この様な歴史の中で、ローターアクトは**18**歳からと、学生もいれば社会人も所属できる幅広い年齢層からの構成となり、様々の立場からの個性、視点からの活動ができる団体であることが他の青少年奉仕プログラムと比べての特徴の1つとして挙げられます。

# 具体的な内容・活動について

## 規模

- ・ 世界でローターアクトクラブのある国 180か国
- ・ ローターアクトクラブ数 10,698クラブ
- ・ ローターアクター数 203,298名
- ・ 日本で33地区 約300クラブ 約3300名
- ・ 2660地区 23クラブ（西ゾーン11クラブ、東ゾーン12クラブ）  
約260名

全国でもトップクラスの会員数

# 入会

## 入会について

- ・ 18歳から30歳までの善良な性格と指導者の資質を備えた青年男女で、特に必要な資格は無く学生でも入会できます。
- ・ 月2回の例会を開催し、例会出席60%が義務となります。
- ・ 入会金・年会費が必要で、クラブや個人会員か法人会員によって異なりますが約500円から4000円程度です。
- ・ ローターアクトの原則を受諾し定款、細則に服従すること。

## 例会について

- 各クラブが月 2 回集り、お互いに親睦や知識を深めたりする為の会合。

例会では、クラブ奉仕・専門能力開発・国際奉仕・社会奉仕の 4 つの委員会がそれぞれ異なったタイトルで勉強会や親睦会を行います。

例会はロータリーの例会と同じように進行する。

## 例会 活動の基本4つの委員会

- ・ **クラブ奉仕委員会**

ローターアクトクラブ発展の為、会員増強や会員の指導力を養う委員会  
(クリスマス、移動親睦例会等を行う)

- ・ **専門能力開発委員会**

各会員が持っている知識や技能を、お互いに学習したり専門講師（ロータリアン等）を招いての勉強会を企画し会員の専門的、職業的な能力を伸ばす機会を作る。  
(時事問題に関する勉強会、法律、マナー講座等)

- ・ **国際奉仕委員会**

世界各地についての知識や理解を深め、国際社会に広く貢献できる活動を行う。  
また、世界の人達との交流により友情を深めながら、奉仕活動や異文化体験を行う。  
(海外のローターアクトクラブとの交流、貧困地域の募金や支援等)

- ・ **社会奉仕委員会**

地域社会のニーズに答え社会奉仕のプロジェクトを企画、実行し、地域社会についての知識理解を深める活動を行う。  
(清掃活動、児童福祉施設、老人ホーム、障害者センターの訪問、支援事業等)

# 例会内容

例会内容は各クラブの委員会により様々なプログラムが企画されておりますが、基本的な例会内容は次のように進行されていきます。

- ・開会の辞・点鐘（会長の宣言と共に鐘を鳴らして開会）
- ・国歌、ローターアクトソング、四つのテスト を歌います。
- ・ゲスト・ビジターの紹介
- ・報告事項（会長、幹事、会計、委員長からの連絡）
- ・本日の時間（会員等による専門分野での卓話などの4つの委員会のプログラム、親睦会）
- ・諸事連絡（地区行事、他クラブの例会等のPR）
- ・講評（参加ロータリアン等より頂く）
- ・閉会の辞・点鐘（会長の宣言と共に鐘を鳴らして閉会）
- ・集合写真撮影

この様にロータリークラブの例会に準じた進行を行います。

## 地区委員会の方針

国際ロータリー2660地区のローターアクト委員会の目的

- ・ローターアクトの活動、プログラムを一般的に広めること。
- ・新ローターアクトクラブの設立を推進すること。
- ・地区内ローターアクトクラブに必要な助言、支援を行い地区単位での活動をサポートし、ロータリアンとローターアクターとの連絡役となり地区ローターアクト役員と共に活動していきます。

本年度より地区ローターアクト代表が本委員会に委員として活動をしていただく事となっております。

# 地区行事について

## 地区献血活動

### 2660地区

年2回大阪府下5地点において、血液の不足する7月、2月に、赤十字血液センターとの協力の下、献血の呼び掛けや、ローターアクトのPRを行う当地区ローターアクトが実施する最大の社会奉仕事業です。  
本年度は、地区内だけではなく、全国一斉献血活動を計画しております。



# 地区海外研修

## 海外研修の目的

- 1、 海外のローターアクターとの交流
- 2、 現地ローターアクターとの共同奉仕活動
- 3、 海外での研修プログラムを精力的かつ主体的に消化し、参加者全員が有意義な海外体験をつみ、本地区ローターアクトの国際奉仕活動の発展のきっかけとすること。
- 4、 地区内ローターアクターの多数の参加者と団体活動を行うことにより親睦を深め、今後のローターアクト活動へのモチベーションアップにつなげる。



# 地区年次大会

年に1回、地区を単位として、地区内外のローターアクターが一同に会す大会です。

ローターリーで言う地区大会にあたります。

ローターアクトでは、お互いの地区年次大会へ参加する交流が盛んに行われ、他地区との交流が毎年継続的に有ることで、日本中の仲間の輪が広がっていきます。



- 地区連絡協議会

地区内全クラブの会長、幹事が一同に集まり各クラブの活動報告や抱えている問題、解決策について討議し、クラブレベルでの計画や重点活動の発表を行う会議。

- リーダーシップフォーラム・新人研修会

各ローターアクトクラブ次年度三役（会長、幹事、会計）  
各委員会次年度委員長、次年度広報担当および入会1年未満の新人会員がそれぞれの分野でクラブ運営を学んだり、次年度の活動方針を発表する研修会。

## 地区行事以外の主な行事

- **関西4地区交流会**

近畿の2640、2650、2660、2680地区のローターアクターが一同に会し情報・交流を行う。

- **全国統一アクトの日**

1982年全国ローターアクト地区代表者会議にて発案され、9月10日をアクトの日とさだめました。国内のローターアクターが同一の日に様々な奉仕活動を行います。

- **世界RACDAY**

世界最初のローターアクトクラブが認証された日である3月13日を含む1週間をローターアクト週間とし、ローターアクターの仲間意識の向上とマスコミにPRをする為に世界中のローターアクターが様々な奉仕活動を行います。